

5 月 23 日(水)に開催致しました「定時総会・講演会」の様様をご紹介します。  
次頁ではグリーンリース活用事例、省エネ型の自動ドアについてお知らせします。



## ■定時総会

### 概要

5 月 23 日(水)、帝国ホテルさまにおきまして、定時総会・講演会を開催し、44 社 57 名にご参加頂きました。例年、5 月下旬～6 月上旬に開催しており、今年で 31 回目を迎えました。



### 定時総会

今年の議題は以下の通りです。

- (1) 平成 29 年度活動報告について
- (2) 平成 29 年度決算報告について  
平成 29 年度会計監査報告
- (3) 平成 30 年度活動計画(案)について
- (4) 平成 30 年度予算(案)について
- (5) 会則改定(案)について
- (6) 平成 30 年度役員(案)について

今年の総会における大きな動きとしては、20 年に亘って会長を務めて頂いた東山興業(株)の猪股さまと、当研究会発足時からご参加頂き、副会長をお務め下さった東洋熱工業(株)の山田さまが理事を退かれたことです。お二方につきましては、総会後の理事会におきまして、会則の変更により新たに創設された顧問にご就任頂くこととなりました。

また、同理事会におきまして、会長には木村實業(株)の木村さま、副会長には東洋熱工業(株)の柳原さまがご就任頂くこととなりました。



前後しますが、会則の主な変更点は以下の通りです。

- (1) 会長、副会長の選任を理事会決議事項とする
- (2) 顧問職を創設する

## 講演会

講師は、NPO 法人国際環境経済研究所理事・主席研究員の竹内 純子さまにお願いし、「エネルギー産業は 2050 年に向けてどのようにゲームチェンジするのか? ~我々消費者はどのように準備し、その先にどんな景色を見るのか?~ 」というタイトルでご講演頂きました。

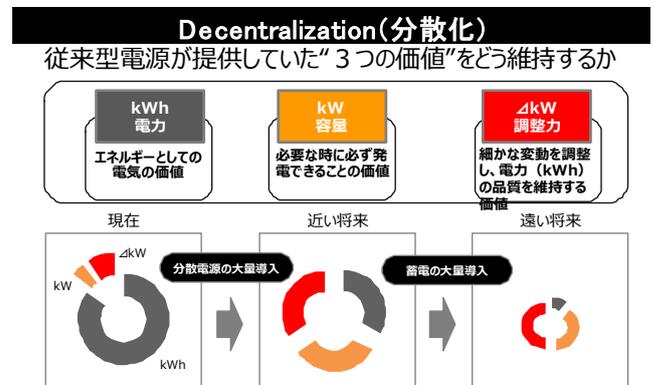


エネルギー産業を変革させていくキーワード「5つのD」(右図参照)がエネルギー産業とどのように関わってくるのかを解説して下さいました。

- D**epopulation  
人口減少・過疎化
- D**ecarbonization  
脱炭素化
- D**ecentralization  
分散化
- D**eregulation  
制度改革
- D**igitalization  
デジタル化

分散化のパートでは、従来電源(大規模火力発電など)が提供してる3つの価値(①エネルギーとしての価値(kWh)、②必要なときに発電できる価値(kW)、③細かな変動を調整する価値( $\Delta$ kW))の維持が課題である、とご指摘されておりました。

①の価値しか提供できない太陽光発電などの再生可能エネルギーが大量に導入されると、相対的に②③の価値が高まるものの、現在それらに対して適切な対価を支払う仕組みがないことがその理由です。



- ◆分散電源が大量に導入されると、電力(kWh)の価値は徐々に無くなっていく。
- ◆kWおよび $\Delta$ kWの価値が高まる。その2つの価値に適切な対価が支払われないと、電力系統全体が持続可能ではなくなる。

詳しくは、著書「エネルギー産業の 2050 年 Utility3.0 へのゲームチェンジ」をご参照下さい。

## ■話題① ～グリーンリース実践に向けて～

7月11日(水)、東京都環境局主催のセミナーが開催されました。基調講演として、三井住友信託銀行 環境不動産担当部長 伊藤 雅人さまより、「環境、健康、そしてグリーンリース」と題したご講演が行われました。

本号では、グリーンリースを活用した改修事例の一例をご紹介します。



### (1) 対象建物の概要

竣工年月 1975年5月

延床面積 およそ12,500m<sup>2</sup>

構造規模 SRC造 地上12階 地下1階

テナント数 11

### (2) 改修設備

蛍光灯 1,669灯(209kW) → LED 1,592灯(52kW)

高輝度誘導灯 53台

工期 約4か月(土日祭日のみの作業)

### (3) 事業費

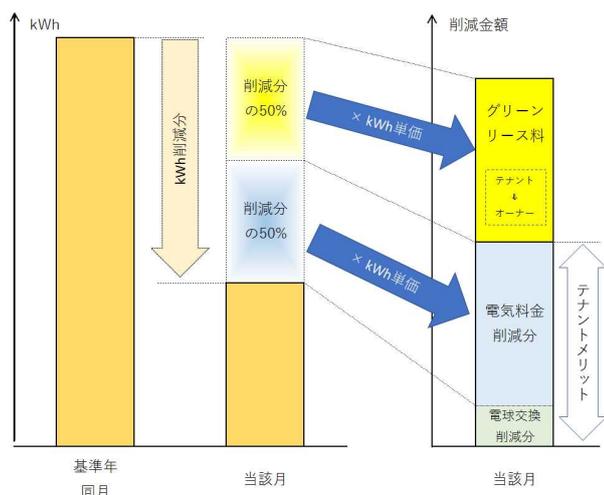
68,000千円(内29,000千円を助成金で賄う予定)

### (4) グリーンリース契約の内容

#### ・グリーンリース料

基準年同月の使用量kWhとの差分の50%にkWh単価を乗じた金額(グリーンリース料とテナントメリットの関係は下図参照)

#### ・契約期間 5年(照明器具の保証期間)



### (5) 発表者からのアドバイス

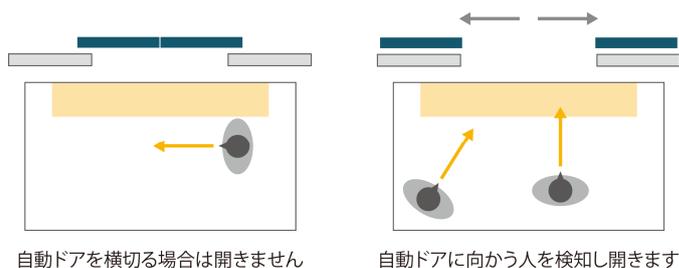
テナントさまとの交渉におよそ2か月を要しました。その際、全てのテナントさまとの契約締結を改修実施の条件として提示しました。そのことで、各テナントさまが、他のテナントさまへの影響に配慮され、比較的スムーズにまとめることができました。

## ■話題② ～省エネ型の自動ドア～

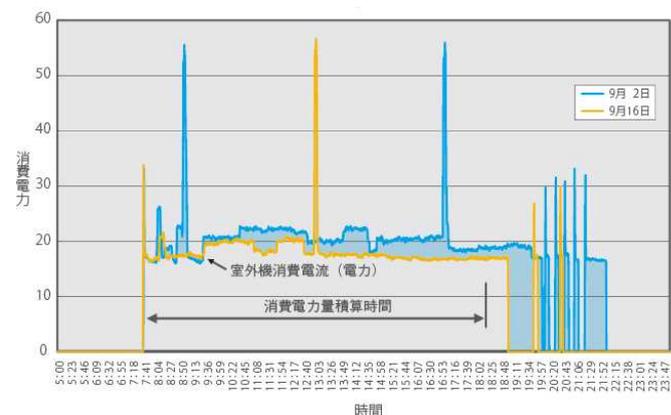
通行したい人にだけ反応して開閉する画期的な省エネ型の自動ドアをご紹介します。



人の動きを読み取り、自動ドアを通行したい人にだけ開き(下図右)、横切るだけの人には開閉しません(下図左)。また、自動ドアを通行した方がドアを通過し終えたことを検知し速やかに閉じる機能も備えています。



上記のように、ドアの不要開閉の削減、開放時間の短縮により、室内環境を改善し空調電力量を削減することができます。下図は、某病院の玄関風除室の空調消費電力を、省エネ型自動ドアを適用する前後で比較したものです。昼間の12時間における消費電力量が約20%削減できています。



本記事の執筆に当たり、ナブコシステム株式会社さまから、「インテリジェントeco ドアシステム」のデータをご提供頂きました。

## ■お知らせ ～ 設備見学会 ～

日時 9/6(木)～9/7(金) 1泊2日  
 場所 福島第一原子力発電所  
 福島給食センター ほか  
 宿泊 J-Village (本年7月にオープン)  
 移動 東京駅周辺から大型バスで往復

銀座・ビルエネルギー研究会 事務局  
 〒160-8440 東京都新宿区新宿 5-4-9  
 東京電力エナジーパートナー株式会社  
 E&G 事業本部 東京本部内 編集発行人 山田  
 TEL:03-6375-0115 FAX: 03-5361-2796  
<http://www.ginza-birueneken.com/> (H30.2リニューアル)